

表 目 次

2.1	対話コーパスの対話例	7
2.2	対話コーパス中の対話現象の例と頻度	8
2.3	発話権情報の分類	9
2.4	システム計画発話とユーザ受聴発話のずれ	11
2.5	動作管理部における各プロセスの制御方法	16
2.6	実験1で設定したユーザ割り込み位置と内容	18
2.7	実験2におけるシステムの割り込みへの対処例	19
2.8	実験1の対話における対話時間の比較	20
2.9	実験2における発話権管理時の対話例	21
2.10	実験2の対話における被験者の話題提起数の比較	21
3.1	対話収録環境の概要	27
3.2	実験に用いる対話評価指標	28
3.3	対話についての総合指標: X_a との相関係数	29
3.4	対話についての詳細指標: X_a との相関係数	30
3.5	相手についての総合指標: X_b との相関係数	31
3.6	相手についての総合指標: 被験者毎の X_b との相関係数	33
3.7	対話についての総合指標: X_a との相関係数 (対話後)	36
3.8	対話についての詳細指標: X_a との相関係数 (対話後)	37
3.9	相手についての総合指標: X_b との相関係数 (対話後)	38
3.10	相手についての総合指標: X_b との相関係数 (対話後)	39
3.11	対話についての総合指標: X_a との相関係数 (対話聴取後)	41
3.12	対話についての詳細指標: X_a との相関係数 (対話聴取後)	41

3.13 相手についての総合指標:Xbとの相関係数 (対話聴取後)	42
3.14 相手についての総合指標:重回帰分析 (対話聴取後)	43
3.15 相手についての総合指標:Xbとの相関係数 (対話聴取後)	44
3.16 被験者が重視するとした指標	45
3.17 対話についての効率の指標:Aaとの相関係数 (対話後)	46
3.18 対話についてのリズムの指標:Caとの相関係数 (対話後)	46
3.19 相手についての効率の指標:Abとの相関係数 (対話後)	47
3.20 相手についての透過性の指標:Bbとの相関係数 (対話後)	47
3.21 対話についてのリズムの指標:Cbとの相関係数 (対話後)	48
3.22 対話についての効率の指標:Aaとの相関係数 (対話後)	49
3.23 対話についてのリズムの指標:Caとの相関係数 (対話聴取後)	50
3.24 相手についての効率の指標:Abとの相関係数 (対話聴取後)	50
3.25 相手についての透過性の指標:Bbとの相関係数 (対話聴取後)	51
3.26 対話についてのリズムの指標:Cbとの相関係数 (対話聴取後)	51
3.27 リアルタイム評価結果と聴取評価結果の相関および一致率	52
3.28 総合指標とその他の指標の重回帰分析	56
3.29 対話データ 99d01 の概要	57
3.30 アンケートによる主観評価結果 (5段階評価)	58
3.31 対話効率の主観評価と発話数	60
3.32 対話効率の主観評価と発話時間	61
3.33 対話効率の主観評価と対話時間	62
3.34 タスク効率の主観評価と発話数	62
3.35 対話効率の主観評価と発話時間	62
3.36 タスク効率の主観評価と対話時間	63
3.37 効率の主観評価とサブタスク数で正規化した発話数	63
3.38 効率の主観評価とサブタスク数で正規化した発話時間	64
3.39 効率の主観評価とサブタスク数で正規化した対話時間	65
3.40 無音時間と対話戦略の関係	66

3.41 対話効率の主観評価と客観量の相関関係	67
3.42 各メタ発話制御方法に対する効率の評価結果	78
4.1 他部からのメッセージと制御の対応	85
4.2 プラニングルールにおける手続き	91
4.3 ユーザ発話意図（発話タイプとパラメータ）とキーフレーズの対応表 . . .	103
4.4 スロット記述の例（論文検索タスクの場合の一例）	104
4.5 ライブラリの例（論文検索タスクの場合の一例）	104
4.6 イベントの例（論文検索タスクの場合の一例）	105
4.7 システム発話のテンプレート	107
5.1 メタ発話生成機構の評価結果	120